

# ゴルトベルク変奏曲 BWV 988

## 特別演奏会 2024

ピアノ 秋元 孝介

一つの「うた」の主題から、大きな宇宙が生まれる。  
すべての人に心の慰めを――



恒例の  
年末ゴルトベルク  
in  
美竹サロン

2024年  
12月29日(日)

【限定50名様】

開場 14:30/開演 15:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/

学生2,500円(全席自由席)

チケット発売窓口



イープラス

★年末ゴルトベルク in 美竹サロン★

2018年 入川 舜  
2019年 務川 慧悟  
2020年 佐藤 彦大  
2021年 入川 舜  
2022年 尾崎 未空  
2023年 入川 舜  
2024年 秋元 孝介

<プログラム>

J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲BWV988

J.S.Bach : Goldberg Variations BWV988



Shibuya  
Mitake  
Salon

# ゴルトベルク変奏曲 BWV 988 特別演奏会2024

ピアノ 秋元 孝介

2024年12月29日(日) 開場14:30/開演15:00  Shibuya Mitake Salon (vol.168)  
入場料: 会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

## 秋元孝介とゴルトベルク変奏曲BWV988

ゴルトベルク変奏曲について、事典を引けば以下のような記載がある。

ゴルトベルク変奏曲一アリアおよび30変奏曲 Goldberg Variations, BWV 988

曲の原形は「二つの鍵盤を有するクラヴサンのためのト長調アリアによる30曲一連の変奏曲」であるが、バッハのバロンであったカイザーリンク伯がたまたま不眠症に悩んでいたため、ゴルトベルク(クラヴサン奏者)と図ってこの曲を作曲し、演奏したところ、殿はたちまち病の軽くなるのを覚え、バッハには黄金のカップと百ルイ金貨を満たした煙草入れを与え、謝意を表したという。以後、この曲をゴルトベルク変奏曲と呼ぶにいたった。

この曲の主題は「アンナ・マグダレーナ・バッハのためのクラヴィーア小曲集」の中の「激われとともにあれば」の歌につづくサラバンドである。

※引用:クラシック音楽鑑賞事典(著:神保 ケイ一郎)

上記の逸話を辿ると、バッハにとって「安らかな眠り」とは何を意味したのだろうか。

ただただ静かなヒーリング音楽のような曲調ではない。

約80分、全30変奏のなかには緩急の変化や感情のさまざまな変化がある。

しかし、聴き進めていくうちに、不思議と心身に安らぎが訪れてくるのだ。

それは、この作品が単なる「静」ではなく、さまざまな感情や想いを包み込み、昇華させるような力を持っているからではないだろうか。

例えば、喜び、悲しみ、怒りといった感情が複雑に絡み合いながらも、最終的には一つの調和へと導かれるような。

早過ぎたり、遅過ぎたり

焦ったり、落ち込んだり

喜んだり、悲しんだり

そういう「すべて」を包み込み、寄り添いながら歩いてくれるのが、この作品の不思議な魅力ともいえるのではないだろうか。

バッハ自身が「心の慰め」と表現していたことにも頷くことができる。

この年末にゴルトベルク変奏曲を弾く、聴くという企画はすでに7年目となる。

一生涯で一度も演奏会で弾くことがない演奏家も多いなか、この作品に出会い、意思を持って取り組み、聴き手と分かち合うということ自体が、何か神秘的なことである。

そして、これほどの作品なのだから、毎年、相応しい名手が挑戦するのだが、今年は秋元孝介氏がその挑戦者となる。

秋元氏が高校2年生のとき、初めてヨーロッパを訪れた彼は、自分へのお土産に手に取った楽譜がこの「BWV988」だったそうだ。

この出来事は運命的な何かを感じざるを得ない。

莫トリオでも大活躍中の秋元孝介氏のピアノは、作品を非常にバランス良く立体的に構築していく。

まるで建築士のように全体の構造を緻密に設計し、職人のように、細部まで丁寧に音を作り出す技は見事というほかはない。

さらに、客観と主観を持つ音楽家の耳と、作品の本質を捉える真の知性によって明らかとなる解釈には絶大なる説得力がある。

緻密さのみならず、自由で伸び伸びとした美しさは快演そのもの。

そうした彼の多面的な特筆すべき特長によって紐解かれるバッハのゴルトベルク変奏曲 BWV988は、混乱、緊迫、さまざまな騒動に明け暮れた世情の2024年を締めくくる師走にふさわしい、当サロンでしか体験することのできない、かけがえのない「昇華」の機会となるのではないかと。

(渋谷美竹サロン)



恒例の  
年末ゴルトベルク  
in  
美竹サロン

一つの「うた」の主題から、  
大きな宇宙が生まれる。

すべての人に 心の慰めを —

秋元 孝介 (Kosuke AKIMOTO) Piano

2018年、ピアノ三重奏団「莫トリオ」のピアニストとして、第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門で日本人初の優勝。現在は国内外で多数の演奏活動を行いながら、ミュンヘン音楽演劇大学大学院、東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程にて更なる研鑽を積んでいる。

これまでに、第2回ロザリオ・マルシアノ国際ピアノコンクール 第2位、第10回パデレフスキ国際ピアノコンクール 特別賞などを受賞。莫トリオによる多数の公演のほか、ソロサイタルやオーケストラとの共演、室内楽奏者としても数多くの演奏を行っている。

特にモツェルの作品を中心としたロシア音楽のレパートリーに定評があり、積極的に演奏を行っている。

これまでに自身が収録に参加したCDは、師の有森博とのピアノデュオによるストラヴィンスキーの「春の祭典」、莫トリオによる「ミュンヘン国際音楽コンクール優勝記念盤」ほか4枚、クラリネット奏者 Sergio Pires との「Les Six」など、国内外でこれまでに8枚リリースされており、いずれも高い評価を得ている。

東京藝術大学音楽学部を首席で卒業後、同大学院音楽研究科修士課程を首席で修了し、サントリーホール室内楽アカデミーでも研鑽を積んだ。



大ホールのプラチナ席をしのご  
“渋谷美竹サロンという楽器”の中で  
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる  
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する

“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。  
クラシック音楽サロン、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分

大好評につき  
サロンメンバーズ  
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03 (3409) 0188



公式Webサイト

